



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

# 大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関 2 8 2

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

## 生徒全員が笑顔で過ごせる大久保中学校に

校長 木寺 恒

6月はいじめ対策月間でした。生徒の皆さんも、いじめ撲滅に向けた学級スローガンを作成し、各教室に掲示してあるいじめ撲滅ポスターの下に掲示をしたり、いじめアンケートに答えたりしましたね。また、いじめに対しての取り組みを宣言したカードも作成しました。こうしたいじめ撲滅に向けた取り組みが、ただ掛け声だけで終わらずに、君たちの実際の行動になることを願います。

さて、校長朝礼でもお話をしましたが、6月のいじめ対策月間はもちろんのこと、私たち大久保中学校は、一年間365日、毎日がいじめ対策日間です。私は校長として、大久保中学校の生徒にいつも笑顔でいて欲しいと思います。だから、人が嫌がる言葉や行動等、いじめを絶対にしないようにしてください。

そしてもし、みなさんの中で、友達からの言動や行動で嫌な思いをしている人がいたら、すぐに保護者や先生等、周囲の信頼できる大人に相談してください。担任や顧問、学年の先生はもちろん、校長、教頭をはじめさわやか相談員やスクールカウンセラー等、全校の教職員であなただの悩みを共有し、チーム大久保中でいじめの解決にあたることを約束します。あなたの苦しみに丁寧に耳を傾け、事実を確認し、ご家庭と協力して問題解決にあります。今後2度といじめが起きないように対応することはもちろん、その後も本当にいじめが解決したのか、最後まで見届け、声かけを行います。

大久保中学校はさらに、いじめ問題の解決について、学校内外から広く皆さんの知恵をお借りして、解決を図るため、いじめ対策委員会を設け、地域の代表の方やスクールカウンセラー等の外部の専門家の方と年複数回、いじめの問題等について話し合いも行っています。

校長朝礼で、みなさんに「わたしのいもうと」という絵本を朗読しました。あのお話は、著者の松谷さんのもとに届いた手紙「わたしのいもうとの話をきいてください」というできごとをもとに書かれた実際にあったいじめの話です。松谷さんはあとがきで、「ある時期わたしもいじめにあっている。その辛さは地獄の底をはうようであった」と述べ、イソップ物語にある、子供たちにいじめられる池のカエルの「お願いだから石を投げないで。あなたたちには遊びでも、わたしにはいのちの問題だから」という言葉を紹介しています。そしてその言葉に続き「わたしもさげびたかった」と怒りと悲しみをこめて、いじめについてふれています。

あらためて確認します。いじめは人の心を傷つける、絶対に許されない行為です。大久保中の生徒にいつも笑顔でいてほしい。だから大久保中学校はいじめゼロを達成できるよう、みんなも強く決意し、行動してほしいと思います。

※「わたしの いもうと」 松谷みよ子 文・味戸ケイコ 絵 偕成社